

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】令和 6 年 5 月 7 日(2024.5.7)

【公開番号】特開 2023-147796(P2023-147796A)
 【公開日】令和 5 年 10 月 13 日(2023.10.13)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-193
 【出願番号】特願 2022-55510(P2022-55510)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 3/20(2006.01)

H 0 5 B 3/34(2006.01)

10

【F I】

H 0 5 B 3/20 3 2 2

H 0 5 B 3/34

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 24 日(2024.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ヒータ装置であって、

可撓性を有する発熱部(12)と、

前記発熱部の表面側を覆う表層部(14)と、

前記発熱部の裏面側を覆うとともに前記発熱部が発する熱を遮断する断熱部(16)と

を備え、

前記発熱部、前記表層部、および前記断熱部は、粘着剤(AD1、AD2)を介して前記表層部、前記発熱部、前記断熱部の順に積層された積層体として構成され、

30

前記積層体には、前記発熱部、前記表層部、前記断熱部それぞれの線膨張係数の違いによる変形を抑えるためのスリット(20、20A、20B)が複数設けられており、

前記粘着剤は、時間が経った場合でも粘性が維持される感圧式接着剤である、ヒータ装置

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

40

請求項 1 に記載の発明は、

ヒータ装置であって、

可撓性を有する発熱部(12)と、

発熱部の表面側を覆う表層部(14)と、

発熱部の裏面側を覆うとともに発熱部が発する熱を遮断する断熱部(16)と、を備え

、

発熱部、表層部、および断熱部は、粘着剤(AD1、AD2)を介して表層部、発熱部、断熱部の順に積層された積層体(ST)として構成され、

積層体には、発熱部、表層部、断熱部それぞれの線膨張係数の違いによる変形を抑えるためのスリット(20、20A、20B)が複数設けられており、

50

粘着剤は、時間が経った場合でも粘性が維持される感圧式接着剤である。

10

20

30

40

50